

ダイナミックな野付半島の自然を観察

～ふるさと講座・自然系「秋の渡り鳥観察会」～

11月4日(日)ふるさと講座・自然系「秋の渡り鳥観察会」を開催しました。講師は長年、野付半島で野鳥の調査を行っている別海町立上西春別中学校の藤井薫先生です。

当日は、天候も良く、絶好の観察日和となりました。この時期の見所は、なんといってもガン・カモ類の渡り鳥が数多く観察出来ることです。1年の中で一番鳥たちがにぎわいを見せる季節で、なかでも、コクガン(天然記念物)は、国内で最大の飛来地として有名です。前日に宮城県の研究者が訪れ、今までで最高の6千羽をカウントし、その多さに驚いていたと聞きました。

ネイチャーセンターから竜神崎へ向かうと、すぐにコクガンの群れと遭遇しました。藤井先生の手馴れたカウントにより、幼鳥194、成鳥331と合計525羽の群れを観察しました。

また、カモたちがざわめき、飛び立つ頭上には、カモ類をねらっているケアシノスリ(珍鳥)・ハイロチュウヒ、チュウヒ、ハヤブサ、オジロワシ、コチョウゲンボといった猛禽類が姿を現し、躍動感ある野付半島の自然を感じることが出来ました。



～参加者からの感想～

観察会に参加させていただき、ありがとうございました。天候にも鳥にも先生にもメンバーにも恵まれ、本当にいい観察会でした。コクガンの群れでは、成鳥と幼鳥の見分け方を教わったり、とても珍しいケアシノスリが見られて感動でした。また次回もぜひ参加させてください。

大盛況 「思い出の西別写真展」(郷土資料館協力)

～別海町郷土研究会収蔵写真研究グループ～

11月16日(金)～21日(水)に、中央公民館で、別海町郷土研究会収蔵写真研究グループ(代表大堀清勝氏)による「思い出の西別写真展」が開催されました。展示されている写真は、代表の大堀さんが町内を歩き収集したもので、見学者からは、「昔を思い出す」「こんな町並みだったのか」など、たくさんの反響がありました。

今回展示されている写真は、その一部で、今後もこうした写真の収集活動を続けていくようです。みなさんの家になつかしい写真がありましたら、郷土資料館までご連絡ください。



秋田県八峰町文化交流事業(移動特別展)

～「絵本雑録記 加賀伝蔵が見た風景」～

加賀家の故郷、秋田県八峰町(旧八森町)文化祭で、特別展(11.10～12)と講演会(11.10)を実施しました。

特別展は、加賀伝蔵が書いた絵図の中でも最高傑作と言われる「絵本雑録記」を大型パネルで解説したものです。(平成15年度当館で実施)この資料には、別海町を含む根室地方や八峰町の様子が描かれており、両町の幕末の様子を知る上でも貴重なものであることから、八峰町教育委員会、同町文化財保護協会協力の強い要望により実施する運びとなりました。見学者は、いつも身近に見ている八峰町の山・川・水田・海岸・集落などの幕末の様子を興味深く見ていたようです。また、パネル展示の他、加賀家文書館の映像の上映、各出版物、別海町関連のパンフレットなども展示しました。

講演会は、「蝦夷地から八森へ～加賀家文書が語りかけてくれるもの～」と題して、集まった約90名の方に「加賀家は、なぜ、蝦夷地に渡ったのか」「どんな古文書なのか」などのお話しをしました。

「八森にこんな人物がいたのか」「今度、別海町に行きたい」「加賀家文書関連の本はどうすれば手に入れることができるか」など沢山の反響をいただき、特別展・講演会共に大成功に終わりました。

こうしたことをきっかけに両町のつながりを大切にして行きたいと考えると共に、加賀家文書をさらに広く多くの方に知ってもらえるよう努力して行かなければならないと改めて感じました。



加賀家七代目加賀實留男氏と展示パネル



講演会に集まってくださったみなさま

12月のお知らせ

- 休館日
1日・2日・10日・15日・16日
23日・24日
年末年始 12月29日～1月6日
- 開館時間
午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 観覧料
一般個人 300円
一般団体(10名以上) 240円
高校生以下は無料となります。

移動展「江戸時代のノツケを探る」(最終)

～野付通行屋跡遺跡発掘調査から～

第5回加賀家文書館特別展の移動展を下記会場にて実施します。ぜひ、ご覧下さい。

●東公民館 12月11日(火)～20日(木)

別海町郷土資料館だより No.101

発行日 平成19年12月1日

発行所 別海町郷土資料館

別海町別海宮舞町30番地

電話 0153-75-0802 (FAX 兼)

e-mail kyoudo@betsukai.jp

編集後記 藤井先生の観察会は、珍しい鳥がいつも見れ、色んな意味で達人である。／秋田県八峰町での事業、たくさんの方に大きな反響をいただきました。別海町に行って見たいという方が多く、是非、来ていただいて、文書館や野付半島を含めた様々な歴史遺産を伝えていきたいと強く感じました。百聞は一見にしかず(石渡)